

ベトナムにおける原子力発電所プロジェクト再始動に向けた緊急課題

2025年1月3日 作成

カテゴリ ベトナム市場調査 環境・再生可能エネルギー

ベトナムにおける原子力発電所プロジェクト再始動に向けた緊急課題

ベトナムの南中部に位置するニントゥアン原子力発電所プロジェクトが再始動に向けたベトナム政府と関連部門の緊急課題が浮上している。

2024年12月5日、トー・ラム党書記長はニントゥアン1号原子力発電所の建設地を視察し、プロジェクト再始動の方針が既に承認されていることを強調した。国民の支持を受けていた今、計画を立て、迅速かつ効果的に実行に移す必要があると述べ、遅れば浪費につながると警告した。

この方針に基づき、原子力発電所の投資準備を進めるためには、まずこのエネルギー源をPDP8に直ちに組み込む必要がある。具体的には、以下の作業内容が緊急に取り組むべき課題として挙げられている。

まず、原子力発電をPDP8に組み込むための準備活動に必要な予算を直ちに確保することが求められる。また、ニントゥアン省には現在2か所の原子力発電所建設候補地が存在するが、2050年までに30～50GWの原子力発電開始を目指すためには、少なくとも10か所の適地を見つける長期的な視点が必要であり、過去の研究の再評価も行うべきである。

さらに、最新技術に関する評価報告書を作成し、原子力技術や運用、安全管理、放射性廃棄物処理などについて信頼性の高いデータを提供することが重要である。国際原子力機関（IAEA）との連携を強化し、技術的な助言や研修、資源の提供などを通じて支援を受けることも必要だ。これにより、計画実行前から具体的な支援を確保することが期待される。

また、「国家原子力発電指導委員会」を早急に設置し、原子力発電計画の調整や投資準備とプロジェクト実施を統括する役割が求められる。最後に、技術、安全、訓練、国際協力に関する専門家チームを設置し、政治局や首相、関連省庁への助言を行うことで、ベトナムの原子力発電開発の基盤を整えることが期待されている。

以上